

参考情報

1 北九州市における国際会議誘致の訴求ポイント

- 北九州市は観光庁が選定する「グローバル MICE 都市」12 都市の一つ。
- 市内で毎年多くの国際会議が開催。2024 年の開催件数は ICCA 基準で全国第 6 位の 15 件。
(JNT0 日本政府観光局基準では 2023 年全国 9 位 45 件)。
- 国際会議では世界・アジア・国内から数百名規模の研究者が本市を訪れ、数日間滞在。開催地への移動や、期間中の宿泊・飲食、視察訪問など直接・間接の経済効果が大きい。
(2024 年度本市における国内外会議・大会などによる経済効果 91.8 億円 (当協会試算))
また、ビジネスやイノベーションの創出、北九州市の都市ブランド力の向上に寄与。
- 国際会議開催地としての北九州市の魅力は、交通アクセスの良さ、コンベンション施設とホテル・市街地の近さ、助成金ほか支援制度、地元のホスピタリティ・主催者への伴奏支援など。

2 都市別国際会議開催件数の推移 (ICCA 基準)

単位：件数

都市	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2024年 順位
東京	127	131	コ ロ ナ 禍 の た め 未 発 表	コ ロ ナ 禍 の た め 未 発 表	39	91	97	1位
京都	60	67			29	41	49	2位
大阪	16	21			5	20	27	3位
札幌	20	25			15	17	24	4位
福岡	27	28			8	17	21	5位
北九州 (順位)	8 (13位)	7 (13位)			6 (12位)	4 (16位)	15 (6位)	6位
横浜	25	21			15	20	14	7位
名古屋	19	19			9	11	14	7位
仙台	23	17			9	15	13	9位
神戸	22	35			10	12	12	10位
広島	13	13			8	7	12	10位
千葉	6	11			4	4	2	12位
全国	492	527	228	397	429			

出典：国際会議協会 (ICCA) の発表、観光庁の資料をもとに (公財) 北九州観光コンベンション協会作成

注：2020年、2021年は、国際会議協会 (ICCA) より都市別開催件数の発表なし

3 北九州市で 2024 年に開催された ICCA 基準の主な国際会議

国際会議名	開催時期	会場	延参加人数 (内海外)
The 38th International Conference on Advanced Information Networking and Applications 第 38 回先端情報ネットワーク・アプリケーション国際会議	4/17 ～4/19	北九州国際 会議場	768 人 (633 人)
The International Council on Electrical Engineering 2024 国際電気工学会議	6/30 ～7/4	北九州国際 会議場	1215 人 (438 人)
The 21st International Conference on Geometry and Graphics 第 21 回図学国際会議	8/5 ～8/9	北九州国際 会議場	845 人 (560 人)
International Symposium on the Industrial Applications of the Mossbauer Effect メスバウアー効果の産業応用に関する国際シンポジウム	9/1 ～9/5	北九州国際 会議場	408 人 (225 人)
The 15 th Asian Conference on Chemical Sensors 第 15 回アジア化学センサ会議	11/17 ～11/20	北九州国際 会議場	1300 人 (534 人)

4 国際会議が開催都市にもたらす主な効果 (出展：日本政府観光局 JNTO ホームページより)

<p>●高い経済効果 コンベンション開催を通じた主催者・参加者等の消費支出は、開催地域を中心に一般的な観光客以上の大きな経済波及効果を生み出します。</p>
<p>●ビジネス機会やイノベーションの創出 世界から学会や企業の主要メンバーが日本に集うことで、人的ネットワークの形成や知識・情報の共有に大きな効果があります。</p>
<p>●都市の競争力・ブランド力向上 コンベンション開催を通じた人や情報の交流・流通、ネットワーク構築の容易さなどは、都市のブランド力向上に寄与します。</p>

5 日本のMICEの取組

○わが国では、観光立国推進基本計画・インバウンド拡大アクションプランに掲げた政府目標達成のため、MICEの誘致・開催を強力に推進している。

※国際会議開催件数に関する目標 (2023年「インバウンド拡大アクションプラン」)

・2030年までにアジアNo.1の国際会議開催国としての不動の地位、世界5位以内

※国別国際会議開催件数 (2023年、ICCA (国際会議協会) 統計より)

・日本 363件 (世界7位、APアジア太平洋1位) [参考]①米国 690、②イタリア 553

○観光庁が、MICE誘致競争を牽引する都市として12の「グローバルMICE都市」を選定し支援を行うとともに、都市の自律的な取組を促進。

※グローバルMICE都市：札幌市、仙台市、東京都、千葉県 千葉市、横浜市、名古屋市 愛知県、大阪府 大阪市、神戸市、京都市、広島市、福岡市、北九州市

○わが国インバウンド観光の発展・拡大に向けた取り組みにおいて中核的な役割を果たす国交省の独立行政法人である日本政府観光局 (JNTO) が、国際会議の誘致・開催を支援。

(支援例)

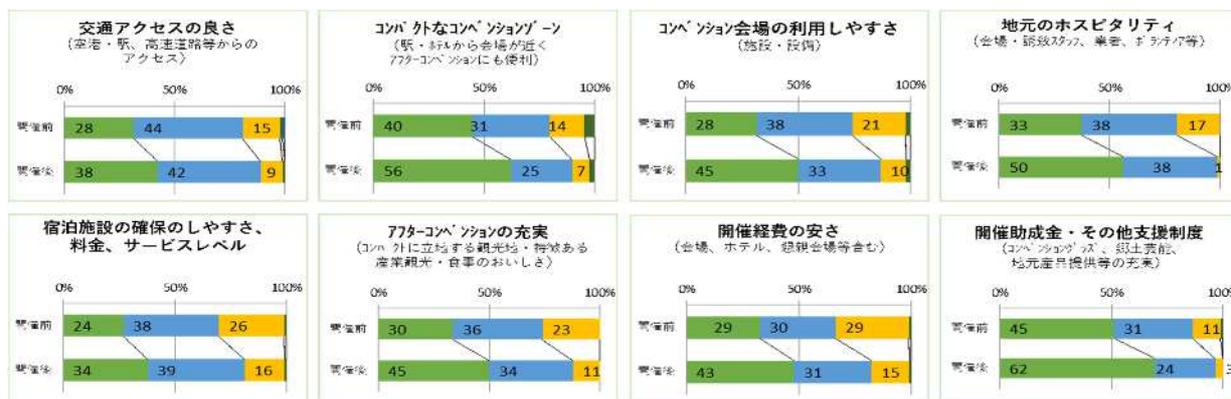
・MICEアンバサダーによる広報・誘致活動プログラム

・先進性・独創性のある企画力や地域貢献など優れた会議を国際会議誘致・開催貢献賞として表彰

6 国際会議開催地としての北九州市の魅力

○会議主催者から、交通アクセスの良さ、コンベンション施設とホテル・市街地の近さ、地元のホスピタリティ、開催助成金ほか支援制度の評価が高い。

北九州市MICE開催助成金開催後主催者アンケート結果より (2019実施)



【凡例】
■ 大変良い
■ 良い
■ 普通
■ あまり良くない
■ 良くない

n=90 (学会・大会のみ)

7 一般的な国際会議のプログラムと見どころ（取材のおすすめ）

取材のご要望に沿えるよう、当協会が主催者や施設への依頼、調整を行います。

（1）会議期間中

	プログラム	見どころ（取材のおすすめ）
初日	<ul style="list-style-type: none"> ・レセプション（参加登録） ・ウエルカムパーティー 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界・全国の研究者が、福岡・北九州空港、JR 小倉駅から続々と参集
会期中	<ul style="list-style-type: none"> ・開会式 ・全体会（基調講演） ・分科会 ・ポスターセッション ・カンファレンスディナー ・アフターコンベンション ・ランチミーティング ・一般向け講演会 ・エクスカージョン 	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者・各国代表挨拶、市長等の歓迎スピーチ ・世界各国から参加する研究者の交流～共同研究やビジネス創出へ～ ・一般の方が参加可能な先端研究の情報発信 ・産業施設や観光スポットの見学、情報交換
最終日	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会（クロージング） 	

（2）会議期間の前後

- 会議大会長（大学教授など）への事前インタビュー（大学での撮影やオンライン）
- 北九州市の幹部職員インタビュー（北九州市の MICE 戦略について）
- 北九州観光コンベンション協会の職員インタビュー（国際会議の誘致について）、市内医工系大学などの往訪による研究者との意見交換の取材、国内外の主催者による本市視察案内の取材
- 地域への経済波及効果の取材（ホテル支配人、飲食店・弁当事業者・土産店のインタビュー等）
- 小倉駅歓迎看板、魚町懸垂幕、市長歓迎メッセージボードの撮影

イメージ写真（国際会議の様子）

(1) 会議場でのスピーチ、分科会



(2) ポスターセッション、コーヒーブレイク



(3) バンケット、交流会、ユニークベニュー



(4) エクスカーション



以上